## **NEGM1** <sup>日本原電2005</sup> ブーマー・ショートマルチ







6-7-4-656

NXGM1-2 <sup>日本原電2005</sup> ブーマー・ショートマルチ [F-50·51] [F-21] [F-22]延長部 →NE -0. Osec (Om) -0.1sec - (100m) -0.2sec (200m) Om А -100m В **C**<sub>1</sub> L<sub>200m</sub>

約250m

S₩←

\_\_\_\_

\_\_\_\_\_\_ 第7.4.3.53図(2) 白木-丹生断層の海上音波探査記録及び地質断面図(NXGM1-2) 6-7-4-657







	凡 例
[F-21]	断層及び断層番号
[F-2] \$	撓曲及び撓曲番号
基部人頂部	変形の及んでいる範囲
[F-2] 延長部 ノ 基部の延長位置	断層又は撓曲の延長位置



# J-31.75G <sub>JAEA2007</sub> ブーマー・ショートマルチ







第7.4.3.53図(4) 白木-丹生断層の海上音波探査記録及び地質断面図(J-31.75G) 6-7-4-659





6-7-4-661



関西電力株式会社との協同 調査による音波探査記録



第7.4.3

6-7-4-663

- -

。 1.54図 白木-丹生断層の変位量分布	凡 例 B 層 上面 C 層 上面 C 層 上面 R 層 上面 R 層 上面 ( 密期更新世以降の活動を考慮する断層及び糖曲) ( 密期更新世以降の活動が認められない断層及び糖曲) 連続性のない断層 ( 後期更新世以降の活動が認められない断層及び撓曲) 連続性のない断層 ( 後期更新世以降の活動が認められない断層及び撓曲) ( 金期更新世以降の活動が認められない断層及び撓曲) ( 金期更新世以降の活動が認められない断層及び撓曲) ( 金期更新世以降の活動が認められない断層及び撓曲) ( 金期更新世以降の活動が認められない断層及び撓曲) ( 金期更新世以降の活動が認められない断層及び撓曲) ( 金期更新世以降の活動が認められている断層及び撓曲) ( 金期更新世以降の活動が認められている新層及び撓曲) ( 金期更新世以降の活動が認められてい、新層及び接曲)	
		$\leftarrow$





第7.4.3.55図 白木-丹生断層の傾斜角分布図



	変動地形・リニアメントの凡例
TTT -	Cランク
דר	D ランク 短線は低い側を示す。矢印は尾根、谷の屈曲方向 短線がないリニアメントは両側で高度の不連続が
~7	河川屈曲

第7.4.3.56図 L-5リニアメント周辺の地形調査結果



1:10,000 0.5

3	A
	×
	/
4	
f	
14	
of2	
	凡例
ofl	da 崖錐堆積物
	新期扇状地堆積物
	of22 古期扇状地堆積物2
9. *	lofi 古期扇状地堆積物1
the state	200 岩脈 (ドレライト)
+ +	Cat 細粒黒雲母花崗岩
1.4 A	Grc 粗粒黒雲母花崗岩
	──── 断層 (実在)
* +	断層 (推定)
* * *	断層 (推定) </r

1 (km)

第7.4.3.57図 L-5リニアメント周辺の地質図 6-7-4-666







第7.4.3.60図 L-5リニアメントf地点~g地点間の破砕部 ブロック試料のCT画像観察結果及び条線観察結果(Loc.L5-1)

# 条線観察(L5-1SL)



下盤上面



断層面の状況

センス不明

条線やや不明瞭である. 断層面の走向

SW







研磨片観察結果
 ・分帯:研磨片中には健岩と断層ガウジ,断層角礫帯が認められる.
 ・全体的に変質・流入粘土の影響が強く,断層岩が収縮しているため,明瞭なY面や変形指標は認められない.この流入粘土はCTで認めた断層面通過部にも入り,断層構造が不明瞭になっている.一部の微小Y面に沿って右横ずれ正断層センスを示す軽微な変形指標が認められる.
 ・上盤側の健岩は下盤側の健岩に比べ,変質が激しい.





第7.4.3.63図 L-5リニアメント(西側)詳細ルートマップ(h地点~i地点) 6-7-4-672



第7.4.3.64図 L-5リニアメント(西側)i地点の露頭スケッチ(Loc.L5-2)

例

凡



第7.4.3.65図 L-5リニアメント(東側)詳細ルートマップ(k地点〜I地点) 6-7-4-674



露頭スケッチ(Loc. L6-2)



第7.4.3.66図 L-6リニアメント周辺の地形調査結果







# 第7.4.3.69図 L-6リニアメントb地点南西方の露頭写真(Loc.L6-1)





6-7-4-679

第7.4.3.70図 L-6リニアメントb地点南西方の露頭スケッチ(Loc.L6-1)



6-7-4-680





## 研磨片観察結果

・分帯:研磨片中には健岩と断層ガウジ,カタクレーサイトが認められる.

・研磨片を横断するY面が1条認められる.このY面は断層ガウジと下盤側のカタクレーサイトを境界付ける部分と断層ガウジ中に分布とから、このY面を最新面に認定した.

・研磨片中には右横ずれ正断層センスを示す変形指標が顕著に認められる.最新面直近でも右横ずれ正断層センスを示すR1面や 認められるが、断層ガウジ中に明瞭な変形指標が認められないため、最新活動に伴う運動センスについて薄片で確認する必要があ





第7.4.3.74図 L-6リニアメントg地点の露頭写真(Loc.L6-2)

固結した角礫状破砕部(上盤側:幅10~30cm、下盤側:幅20~40cm)

粘土状破砕部(幅1~1.5cm)

固結した角礫状破砕部(弱変形)(幅80cm以上)





第7.4.3.76図 L-6リニアメントg地点の破砕部 ブロック試料のCT画像観察結果及び条線観察結果(Loc.L6-2)

6-7-4-685





### 研磨片観察結果

・分帯:研磨片中にはカタクレーサイトと断層ガウジが認められる. 上盤側のカタクレーサイトはやや粘土化している.

・研磨片を横断するY面(最新面)が断層ガウジと下盤側のカタクレーサイトを境界付ける.このY面以外のY面は連続 性・直線性に欠ける.

・正断層センスを示す変形指標が顕著に認められる。

第7.4.3.77図 L-6リニアメントg地点の破砕部 ブロック試料の研磨片観察結果(Loc.L6-2) 6-7-4-686



正断層センスを示すPフォリエーションが認められる.

## 薄片観察結果

・分帯:①カタクレーサイト(中~粗粒フラグメント),②断層ガウジ,③フォリエーティッドカタクレーサイト(細~中粒フラグメント)

・分帯はテクスチャーに基づく.

・薄片を横断するY面は②と③の境界に認められる.このY面は薄片作成時に開口しているため,粘土鉱物との関係は不明である.②と③には正断層センスを示す変形指標が認められる. ・①:フラグメントは主に石英,カリ長石,黒雲母からなり,一部でセリサイトを含む.黒雲母は緑泥石化や,塑性変形しているものが認められる.石英にはポリクウォーツ化や波動消光が認められる.マトリックスは細粒砕屑 物からなり,軽微な変質・粘土化により,セリサイトが晶出している.破砕流動が顕著に認められる.

・②:フラグメントは主に石英,カリ長石,黒雲母からなり,カタクレーサイト起源のフラグメントも認められる.マトリックスは細粒砕屑物や細粒の粘土鉱物(スメクタイト?)からなる. ・③:フラグメントは主に石英,カリ長石,黒雲母からなる. 黒雲母は緑泥石化や,塑性変形しているものが認められる.石英にはポリクウォーツ化や波動消光が認められる.マトリックスは細粒砕屑物からなり,顕著な変 質・粘土化は認められない. 破砕流動が認められる.

# 6-7-4-687

③中に黒雲母の塑性変形が認められる.



-7リーアメン	ト周辺の地形調査結果
	一内应仍必加且加不

44.46	1
2	
250	地形云の日間
4	地形面の凡例
4	地形面の凡例 至 沖積低地面
C 31	地形面の几例 注意 沖積低地面
C - 11	地形面の几例 沖積低地面
	地形面の九例 注: : : : : : : : : : : : : :



÷ ;

第7.4.3.80図 L-7リニアメント周辺の地質図



第7.4.3.81図 L ─7リニアメント詳細ルートマップ(a地点〜b地点)



第7.4.3.82図 L-7リニアメントa地点の露頭写真(Loc.L7-1)

破砕幅:固結した角礫状破砕部(幅2.5m程度) 粘土混じり角礫状破砕部(幅3~15cm) 粘土混じり角礫状破砕部は露頭の下部でせん滅する。





(1) f.N22°  $E/76^{\circ}$  NW

 $\check{2}$  f.N7° E/73° W

3 j. N88° W/50° N

(4) f. N44°  $E/56^{\circ}$  NW

下部拡大スケッチ

第7.4.3.83図 L-7リニアメントa地点の露頭スケッチ(Loc.L7-1)





最新面

ーーー R1面 ーーー P面 ひきずりの構造	<ul> <li>研磨片観察結果</li> <li>・分帯:研磨片中には中〜粗粒カタクレーサイトと細〜中粒カタクレーサイトが認められる.</li> <li>・Y面は研磨片中央部の細〜中粒カタクレーサイトで多数確認される.認められるY面のうち,研磨片中央部に研磨片を横断するY 優れる).このことから,このY面が最新面であると考えられる.最新面は主に,細〜中粒カタクレーサイトと研磨片右側の中〜粗粒.</li> <li>・中〜粗粒カタクレーサイト中には左横ずれ正断層センスを示す変形指標が顕著である.細〜中粒カタクレーサイトには右横ずれ</li> </ul>
	層センスを示す変形指標が混同する(右横ずれ逆断層センスを示す変形指標が顕著である). 最新面近傍には右横ずれ逆断層- を示す変形指標があるため,研磨片では最新活動の運動センスは不明である.

Y面が1条認められる(連続性に なカタクレーサイトを境界付ける. い逆断層センスと左横ずれ正断 センスと左横ずれ正断層センス



第7.4.3.86図 L-7リニアメントa地点の破砕部 ブロック試料の薄片観察結果(Loc.L7-1)



第7.4.3.87図 L-8リニアメント周辺の地形調査結果

![](_page_41_Figure_0.jpeg)

第7.4.3.88図 L-8リニアメント周辺の地質図 6-7-4-697

![](_page_42_Figure_0.jpeg)

![](_page_43_Figure_0.jpeg)

第7.4.3.90図 L-8リニアメントa地点の露頭スケッチ(Loc.L8-1)

![](_page_44_Figure_0.jpeg)

![](_page_45_Figure_0.jpeg)

![](_page_46_Figure_0.jpeg)

第7.4.3.93図 L-8リニアメント詳細ルートマップ(d地点) 6-7-4-702

![](_page_47_Figure_0.jpeg)

L-8リニアメントd地点の露頭写真(Loc.L8-3)

第7.4.3.94図

![](_page_48_Figure_0.jpeg)

![](_page_49_Figure_0.jpeg)

第7.4.3.96図 L-8リニアメントd地点の破砕部 ブロック試料のCT画像観察結果及び条線観察結果(Loc.L8-3)

# 条線観察(L8-3SL)

![](_page_49_Picture_4.jpeg)

下盤上面

![](_page_49_Picture_6.jpeg)

![](_page_50_Figure_0.jpeg)

第7.4.3.97図 L-8リニアメントd地点の破砕部 ブロック試料の薄片観察結果(Loc.L8-3) 6-7-4-706